

平成25年度 施策評価調書

施策コード	5-4	所管部	総務部
評価責任者	職名 総務部長	氏名	能村 義則
所管課	人事秘書課		

1 施策

まちづくり方針	豊かな心を育み文化の薫るまちづくり
施策名	文化・芸術
基本方針	地域に根ざした文化・芸術を育成・保存するとともに、歴史や文化の薫り高く、国際感覚のあるまちをめざします。
主要施策	①アートを活用したまちづくりの促進 ②歴史民俗資料館の充実・活用 ③文化財の保存・活用 ④多様な国際交流への対応
関連個別計画	計画なし


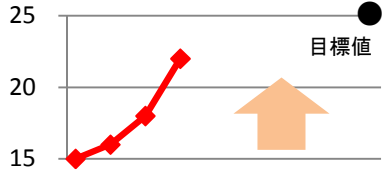
2 評価・課題

評価	愛知万博を契機に芽生えた国際化意識を育てるため、国外との交流の機会に努めました。国際交流協会の会員の増加や友好都市韓国務安郡との中学生体験交流を始め、市民相互の交流により、市民に対して地域の国際化・国際理解の増進を図ることができました。
課題	愛知万博補助金（愛知県フレンドシップ継承交付金）が終了するため、国際交流協会の自主財源確保と、協会の会員や市民ボランティアによる自主的な運営の体制を構築することにより、地域の国際化の推進を図ることが課題です。

3 今後の方向性

需要予想	増加	展開手法	改善	行政コスト	維持
取組内容	市民と在住・在勤の外国人が、お互いを理解したうえで各々の要求に応じた事業展開を行うことが必要です。そのため、市民ボランティアを育成し、拡大する要求に対応できる体制を構築するため、「ぼづくり」「ひとづくり」「ちいきづくり」事業を推進し、持続的な組織運営を目指します。				

4 評価指標・実績

区分	指標の内容	目標年度	目標値	直近3年間の実績値（年度）			推移
				22	23	24	実績値：  属性：⇨ 目標値：●
1	市民参画により展開する事業数	29年度	25 件	16	18	22	
		属性	増加目標	進捗	上昇		

5 行政コスト

(単位：千円)

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費	10,213	11,079	15,267
(うち一般財源)	(6,093)	(7,134)	(15,027)
人件費	1,596	1,546	1,524
合計	11,809	12,625	16,791

※事業費は決算額。人件費＝平均単価×人工。

6 施策を構成する事務事業

(単位：千円)

事務事業名	事業内容	平成24年度事業費
交流事業	ますます進展するグローバル化、地域の国際化に対応するため、市民レベルでの異文化交流を支援することを通じ、国際理解を深め、国際平和を促進する。	11,491
友好都市務安郡交流事業	市内の中学生を友好都市務安郡に派遣し、ホームステイ等による日常体験を通して文化、歴史等全般にわたり相互理解を深めるとともに、国際感覚を培う。また、務安郡からも中学生を受入れ北名古屋市民と交流を図る。友好都市務安郡の蓮産業祭に参加し、交流を図る。	3,776

平成25年度 施策評価調書

施策コード	5-4	所管部	教育部
評価責任者	職名 教育部長	氏名	武市 学
所管課	生涯学習課		

1 施策

まちづくり方針	豊かな心を育み文化の薫るまちづくり
施策名	文化・芸術
基本方針	地域に根ざした文化・芸術を育成・保存するとともに、歴史や文化の薫り高く、国際感覚のあるまちをめざします。
主要施策	①アートを活用したまちづくりの促進 ②歴史民俗資料館の充実・活用 ③文化財の保存・活用 ④多様な国際交流への対応
関連個別計画	計画なし

2 評価・課題

評価	<p>歴史民俗資料館（昭和日常博物館）は、学校の社会見学を始め市内外からの見学者に楽しまれています。また、全国の先駆けとして回想法との連携により、全国への展示協力等もあり本市のPRに大きく貢献をしていることから、目標値となる入館者数を上回っています。一方、市内には貴重な文化財や遺跡が多くあり保存、展示等を行い、広く市民に公開し、後世に継承していますが、施設面積に限りがあり事業の拡大ができない状況です。</p> <p>芸術では、名古屋芸術大学に委託し、音楽、美術を生かした芸術鑑賞事業を展開し、参加者数が順調に増えています。</p>
課題	<p>文化財の保存及び活用を行う施設の面積や職員規模に限りがあり、歴史や文化は多様であることから様々な市民ニーズが顕在しています。また、大型バスによる歴史民俗資料館への団体入場の要望が増えており、駐車場などの整備が必要となってきました。</p> <p>芸術では、名古屋芸術大学を生かして若者の街を芸術で表現できるよう検討が必要です。</p>

3 今後の方向性

需要予想	増加	展開手法	拡張	行政コスト	維持
取組内容	<p>限られた施設のスペースを有効に活用するなどして、歴史的な文化財展示を行うとともに、協働を進め市民ボランティアの方に参加してもらい郷土の文化財の掘り起こしと保存に努め、文化財保護の意義をPRするとともに、各種事業のさらなる充実を図ります。</p> <p>芸術では、名古屋芸術大学との連携を深め、若者を呼び込むような仕掛けづくりと、発表の場の拡大を図るとともに、市民への発信力を向上させた事業の展開に取り組みます。</p>				

4 評価指標・実績

区分	指標の内容	目標年度	目標値	直近3年間の実績値（年度）			推移
				22	23	24	実績値： 属性： 目標値：
1	歴史民俗資料館入館者数	29年度	40,000 人	38,203	36,990	40,964	 44,000 40,000 36,000 目標値
		属性	増加目標	進捗	達成中		
2	特別展入館者数（1日平均）	29年度	150 人	157	126	176	 200 150 100 目標値
		属性	増加目標	進捗	達成中		
3	指定文化財の公開数（常時公開文化財は除く）	29年度	50 件	38	51	48	 50 25 0 目標値
		属性	増加目標	進捗	下降		

5 行政コスト

（単位：千円）

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 （うち一般財源）	22,930 (21,307)	17,893 (17,441)	15,773 (15,532)
人件費	15,953	15,467	22,865
合計	38,883	33,360	38,638

※事業費は決算額。人件費＝平均単価×人工。

6 施策を構成する事務事業

（単位：千円）

事務事業名	事業内容	平成24年度事業費
歴史民俗資料館運営	歴史民俗資料館において様々な歴史、民俗、文献、生活などの資料を収集、公開、調査、研究していくことにより地域の歴史や文化を後世に伝えていく。	11,201
歴史的建造物等保存事業	国登録有形文化財である「旧加藤家住宅」の保存、活用を実施する。 併設している回想法センターと連携、協働し、一般見学のほか、名古屋芸術大学と連携したアートプロジェクトの実施、回想法関連事業に有効活用する。	1,335
文化財保護事業	貴重な文化財の保護・活用を行う。市内に所在する指定を受けていない文化財について基本調査を実施し、現状の把握及びデータベースの整備を行い、貴重な地域資源として位置づけ、まちづくり・次世代教育への活用及び情報の発信を進める。	1,947
埋蔵文化財保護事業	貴重な埋蔵文化財資料を北名古屋市の重要な学術資源、地域資源として再認識し、広く周知を図っていくため、過去の調査資料の整理作業、報告書の作成を行うとともに、調査成果を講演会・展示会等を通して広く市民に公開し、埋蔵文化財の地域・歴史資源としての活用を促進する。	1,290